

We change “安曇川”

一生懸命 ～学ぶ・動く・つながる～

ASV20・安曇川中学校サポートボランティアチーム

第2回 ゴミ拾いボランティアの案内

1月の学校だよりでも紹介しましたが、前回1月16日(土)のゴミ拾いボランティアには、チームのメンバー数名と中学生(部活動単位と希望者)、教職員数名の総勢60数名の参加を得て、たくさんのゴミを拾うことができました。

その活動の中で、「こんなところにも落ちているんですね。」「どうしてこんなゴミが・・・」など、様々な感想が出ていました。活動の姿を見かけていただいた方々などが、少しでもその様子を広がっていただければ、ゴミを捨てるという行為の減少や住みよい環境づくりに繋がっていくのではと期待しています。

そこで、2回目のゴミ拾いボランティアを以下の期日で実施します。できる限り多くの方の参加をお待ちしています。

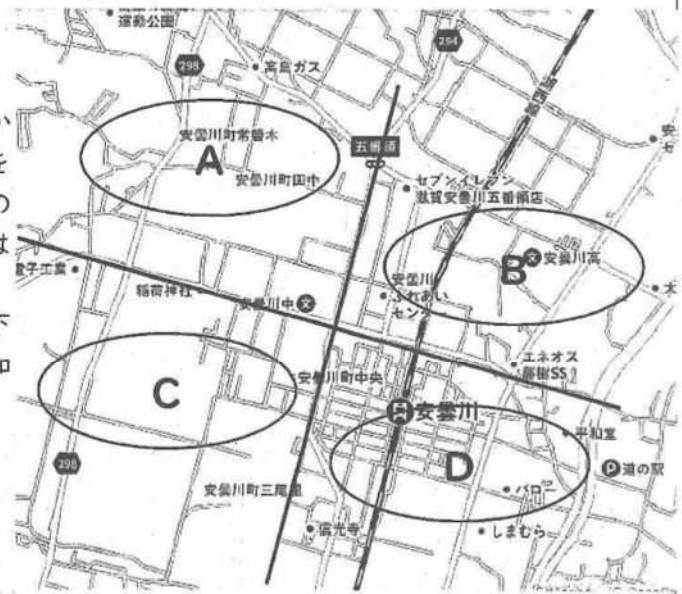
期日：3月13日(土) 15:00から

1時間程度

集合場所：安曇川中学校 体育館前

活動場所：右図の様にA～Dの区域に

分かれて活動します。



iPad 一人1台導入・・・主体的な学びの構築へ

2月2週目にiPadが一人1台導入され、ICT環境は整ってきました。本校では各教科で積極的にiPadを活用した授業を進めてきましたが、一人1台となったことで、様々な学習の展開に期待がもてます。市では来年度からの本格運用に向け、iPad利用ガイドブック(仮称)を作成中ですが、授業時間の活用にとどまらず、家庭での学習や課題の提出など活用の幅は広がるのが想定できます。

大切なことは、いかにiPadを使うかということです。ただ使えばいいということではなく、どの場面で活用することがどんな力を育てるのか、その効果を検証しながら、より効果的な活用の仕方を探求していきたいと考えています。

そこで、「AIの壁」(著:養老孟司)というPHP新書の一説を紹介しします。いろいろ考えさせられます。

『AIの一番の問題はすべてデータに基づいて予想したり、判断したりしていることです。しかもそれを積み重ねていきます。データというのはすべて過去のことです。今いる人間についてのことを過去のデータで判断するってことは、昔も今も人間は変わらない、時間の経過があっても人間は変わらないという前提がないと無理なんです。でも、そんなことありませんよね・・・人間や社会は変わるものなのに、世の中は変わらないという前提で統計というものが幅を利かせていて、それがAIが学習するデータになっているんです。その上、ブラックボックス化しています。ある統計を前提として統計を取って、それをまた前提として統計を取るみたいなことが起こって積み重なっているんです。AIの仕組みも積み重ねですから、・・・そういう脆弱な統計を拠り所にして問題が解決できると考えていること自体が、リテラシーが非常に低いということですね・・・』

安中生 活躍！！

(紹介が遅くなりすみません)

2020年に行われた第37回近畿中学生ソフトテニス選抜インドア大会の男子団体戦で、安曇川中学校が3位となりました。その活躍に拍手を送りたいと思います。

ますます精進し、今夏、県、近畿、全国と活躍の舞台が続いていくこと期待しています。頑張れ！

団体メンバー：2年 [] さん・ [] さん、
2年 [] さん・ [] さん、1年 [] さん・ [] さん
2年 [] さん、 [] さん



「自分のよさ」を見つめ、伸ばそう！！ part 2

「自分のよいところ+伸ばしたいところ」を全校生徒に聞くという取組は1月で完了することができました。3年生は「自分のよいところ+進学後に身に付けたい力」と少しアレンジしましたが、いろいろな思いを話してくれました。今回は1年生の話の紹介をしましたので、今回は2、3年生の話を紹介します。

「自分の良いところは？」という質問に対して、『コツコツ積み上げて考えられる』『やることはちゃんとやって目標に向かってまっすぐ進める』『誰にでも気軽に話しかけられる』『敬語が使える』『何でも笑える』『最近是人見知りしなくなった』『他の人につられず自分の意思をもって行動できる』『人の性格を自分なりに分析できる』『人の顔と名前を忘れない』『周りの人を笑顔にできる』『一度やると決めたら最後まであきらめずに取り組める』『早起きができる』『言われたところをしっかりと守って直していこうとできる』『何かあってもすぐ気持ちを切り替えられる』『周りを見てどうしたらよいか考えられる』『寝坊したときぱっと用意できる』『先輩に対して礼儀正しい』『趣味がいっぱいある』『競争心が高い』『おなかいっぱいものを食べられる』など、個性豊かなお話でした。3年生の話はより具体的で大変良かったです。その他「優しい」「明るい」「元気」「〇〇(スポーツ)が得意」はたくさんありました。さらに深く自分のよさに気づき、自分自身の幅を広げていってください。

「伸ばしたいところは？」という質問に対しては、『自分で頑張ろうと思ったことを最後までやりとげられるようになりたい』『美しくなりたい』『勉強』『ゲームのスコア』『身長』『運動・スポーツの技術』『もっと考える力を付けたい』『記憶力を向上させ薬学や医学の道へ進みたい』『絵が上手になりたい』『何事にももうちょっと積極的にになりたい』『コミュニケーション能力を高めたい』『頑固と短気を治したい』『前のことを引きずるのをやめたい』など、自分の現状を捉え、冷静に判断できていたように思えます。「勉強・学力」と答えた人が多かったです。日々の積み重ねを大切に、将来に向けて一歩ずつ進んでいけるよう頑張らしましょう。

「進学後に身に付けたい力は？」という質問に対しては、『遅刻しない』『今やりたいことを叶えられる力』『いろんな見方ができるようになる』『計画を立てて行動できる力』『自分から進んでみんなをまとめる力』『人に信頼される』『どんな難しい問題も解けるようになりたい』『科学的な思考力・幅広い知識』『すぐ行動に移せる力』『人の話を聞けるようになりたい』『文章を読む力』『将来は外国へ行って考え方を広げたいので英語ができるようになりたい』『友達100人作る』『自分の技術(学力やいろいろ)をアップさせたい』『言葉遣い』『字がきれいになりたい』『具体的な将来の夢を見つけていきたい』『日本語をしっかりと使えるようになりたい』など、3年生は進路決定を間近に控え、自分の未来を真剣に考えているんだなと感じることができました。自分自身の人生です。自分で考え、悩み、行動し、立ち止まってまた考え、試行錯誤を繰り返しながら自分の力で進んでいってください。